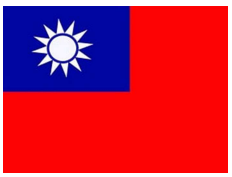
第 82 号　　Newsletter 2025.11.15

香芝市国際交流市民の会

グローバル香芝

The International Exchange Society, Global Kashiba

あの留学生は今㊹・・・蔡慧兒さん（台湾）



学びを生かして台湾と日本の文化交流に貢献

2年ぶりにグローバル香芝の皆さん、こんにちは。台湾のサイ・ケイコと申します。2022 年、私は台湾の国立台北教育大学台湾文学研究所の大学院生として国際交換学生試験に合格し、2022 年9月から 2023 年8月までの1年間、大阪教育大学に留学しました。

初めての生活の変化に…

人生で初めての寮生活、初めての一人暮らし、そして慣れない言語環境での生活でした。学校は美しい国立公園の中にあり、広々としたキャンパス、優れた景観、澄んだ空気に恵まれていました。ただし、日用品や食料品を買うには山を下りなければならず、少し不便でした。生活の不便さに加え、学業の忙しさや日本の寒い気候も苦手で、前期が終わって台湾に帰国したときは、正直なところ日本に戻りたくないとすら思いました。しかし、「中途半端に諦める」という選択肢は私には決してありませんでした。

さらに豊かな学びを得て…

後期が始まると、コロナ禍で 3 年間中止されていたグローバル香芝のボランティアの皆さんが、再び学校に来て留学生との交流を再開してくださいました。「日本語教室」だけでなく、七夕飾りの作り方や「ゆかたマナー講座」などのイベントも開いてくださり、本当に楽しい時間を過ごすことができました。さらに「ホームビジット」にも参加し、柳内さんのお宅では手作りのおいしい串揚げやお菓子をごちそうになりました。また A さんは、よく車でスーパーに連れて行ってくださり、本当に大きな助けになりました。

私は台湾の大学院で台湾文化史を専攻していましたが、大阪教育大学での1年間の学習やグローバル香芝のボランティアの方々との交流を通して、台湾と日本の文化や歴史には非常に深い関連があることを改めて実感しました。2023年8月に帰国してからは、1895年から1945年の日本統治時代における台湾の歴史研究に専念しています。

私の信じていること、そしてこれから

「なぜこの年齢になっても勉強を続けているのか」とよく聞かれますが、私はいつもこう答えています。「何歳からでも学ぶことができると信じています。留学した甲斐があり、日本で学んだことを生かして、台湾と日本の文化交流に貢献したいのです」と。

台湾に戻ってからの2年間で、多くの日本の友人が訪ねてきてくれました。グローバル香芝のボランティアさん、大阪教育大学のチューターさん、そして日本で出会った友人たちです。台湾の美味しい食べ物はもちろんのこと、できる限り台湾の歴史や文化、風土や人情も紹介し、一緒にたくさんの楽しい時間を過ごしました。グローバル香芝のボランティアの皆さんには、もし都合が合えば、ぜひ台湾に遊びに来ていただきたいです。皆さんにお会いしたいですし、日本にいたときにいただいた支援とお世話には心から感謝しています。

（蔡　慧兒・・日本で通称　サイ　ケイコさん）

◆2025年度　特別聴講生、日本語・日本文化研修留学生　修了レポート発表

留学の学びを　やりたいことに生かして

昨年10月から大阪教育大学に来られた留学生29名の修了レポート発表は、8月6日～7日の2日にわたり行なわれました。グローバル香芝からの参加は、6日6名・7日2名でした。

日本語がおぼつかなかったAさんは、『母国と日本における犬に関する諺の比較』と題して、上手く纏め堂々と発表、担当の先生も感心されていました。Bさんは、菊池寛の『恩讐のかなたに』の作風にほれ込み、「汝」や「上方」などの翻訳はどうするかと迷いながらも、帰国したら母国語に翻訳すると意気込んでいました。最後に先生から、「自分の好きなことを沢山考え、人からもらった愛を大切に、自分のことも大切に、そしてもらったものを社会にどのように返していくか考えて下さい」と締めくくられました。皆さんのご活躍を期待したいと思います。

日本語支援者と参加留学生

◆2025年度　前期　修了式・交流会

8月8日、大阪教育大学で特別聴講生20名と日本語・日本文化研修留学生10名の併せて30名の修了式がありました。グローバル香芝から6名が参加しました。

柏原ロータリクラブ代表のご挨拶後、代表留学生2名（台湾・フランス）のスピーチは、国を超えた仲間との友情が生まれ、楽しい留学生活であったとほとんどの留学生の思いを伝えてくれました。一言スピーチではブルガリアのドニさんが、グローバル香芝に対するお礼を述べてくれました。　（田中サ）

◆「にほんごひろば」学習者　自己紹介

たのしく日本語の
勉強をしています

家族とともに　夢をかなえたい

私は、スベディ・ガンガダールです。出身はネパールです。日本に来て 5 年になります。

皆さん、ネパールという国は知っていますか？私は、ネパールのバガルングという町から来ました。バガルングの町は古くて有名な町です。カリガンダキという水がきれいで大きい川が有ります。また、カリカマンデルパンザコートというお寺や、シバラエマンデルタワゲリ山という有名な山もあります。

私の家族は 5 人で、妻と息子、父と母と私です。（もうすぐですが私の子どもが生まれたら 6 人になります。）妻の名はパビで結婚して 11 年になります。息子は 10 歳で名前はサファルです。好きなことはゲームです。息子はネパールにいるので毎日、電話で話しています。

私の仕事はレストランのコックで、カレーやナンを作ります。ホールでお客さんの注文をきいたり、料理も運びます。お客さんが「おいしい」と言ってくれるとうれしいです。

私の夢は自分のレストランを開くことです。先日は、日本の運転免許を取りました。もうすぐ、息子を日本に呼んで一緒に暮らす予定です。とても楽しみです。

◆2025 年度第 1 回日本語サポートボランティア養成講座

心の通う外国人支援を

今年度第 1 回の講座を 8 月 17 日に香芝市公民館で開催し 13 名の参加がありました。今回のテーマは「やさしいにほんご　理論編・当たり前を捨てて伝わることば」です。講師の樋口尊子先生(NPO 多言語・多文化サポートICH)は、大学在学中に日本語教育や地域日本語支援に出会い、卒業後も国内外の大学などで日本語教育に携わり、現在も地域に暮らす外国人住民の活躍の場を提供するなど地域の多言語・多文化交流などを主として活動されています。講座は「地域の日本語教育のこれまでとこれから」についての説明から始まりました。教科書を使って教室型のこれまでの支援から、阪神・淡路大震災での経験を活かし、日々の生活や外国人に寄り添ったこれからの支援へとつながり、そしてそこから「やさしいにほんご」活動が始まったそうです。

「やさしいにほんご」では、日本のルールや考え方だけではなく、お互い（支援者と外国人）の当たり前の違いを考えたうえで、人と人としての交流をし、心を通わせていくことが日本語支援のゴールになるのではないかと言うことも学びました。

今回は YouTube「やさしい　せかい」を視聴し日本の文化や日本語がどのように外国人の目に映っているのかに気づかされました。またワークシートを使い「お知らせ」や「案内」などを優しい（易しい）日本語へ変換する練習をして講座を終えました。　　（辻本）

◆キッズグローバル体験

英語でアクセサリー作り

最初に作り方の説明を英語で聞きました

10 月 26 日中央公民館で『こどもグローバル体験』として「外国語を使ってアクセサリーを作ろう！」という催しを開きました。低学年から高学年まで10名の小学生が参加しました。

最初に、野口ジョンさん（シンガポール出身、グローバル香芝会員）の「Hello, every one, and Welcome！」という英語の挨拶から始まりました。今回作るのは、レジンを使ったチャームアクセサリー。お菓子や果物、花などのパーツを使いました。子供たちは、英語での作り方の説明を熱心に聞き、早速、それぞれが好きな形を選び制作開始。約1時間かけて、オリジナルのチャームを作り上げました。

細かいパーツで丁寧に作ります

子供たちの作品は、それぞれに個性があふれていました。兄弟で見せ合ったり、保護者の方に見てもらったり、写真を撮ったりと、楽しんで英語にふれる時間をすごしてもらえました。最後に、みんなで作品を手に達成感あふれる笑顔で記念撮影。「See you, bye 」の声を掛け合いながら、終了となりました。　（田中ヨ）

― メンバーひとりごと 80―

違いに気づき、違いに興味を抱き、そして違いを理解し

辻本　由香

ジブリパークにて

2024 年 4 月からグローバル香芝でお世話になっています辻本です。以前からお世話になっているグローバル香芝のメンバーの方の紹介でこの活動に参加させていただくことになりました。グローバル香芝の活動やイベントはとても魅力的だと感じ、私もその一員となり、できる範囲でサポートさせていただきたいと思いました。

もともと異文化に興味があった私は、自分自身が暮らす世界と、自分とは別の世界との違いに気づき、その違いに興味を抱き、どうしてその違いが生まれたのかを考えたりしていました。

私の最初の興味の的はロンドンの二階建てバスでした。当時の日本のバスとの違いにびっくりしたわけです。もともと運送力不足を補うために二階建てになったという単純な理由だったそうですが、その見た目がかわいい二階建ての真っ赤なバスの存在が私の未熟な知識の世界を少しずつ広げていくきっかけになりました。

いま私は大阪教育大学の留学生を支援する「日本語クラブ」に携わっていますが、留学生から学ぶことはとても多く、文化や日々の習慣の違いに気づくこともちろんよくあります。そのたびに興味が広がり、留学生との会話もどんどん広がっていきます。これからも留学生たちの日本での一年余りの生活が実りあるものとなりますよう心から願い、楽しい「日本語クラブ」に携わって行きたいと思っています。

＊次は大野和理さんです。

香芝市在住外国人数（32ヵ国　792名）　　**2025年9月30日現在**

アメリカ：12、アルゼンチン：1、イギリス：4、インド：1、インドネシア：31、オーストラリア：3、カナダ：3、韓国：181、コスタリカ：1、スペイン：2、スウェーデン：1、シンガポール：1、スリランカ：1、タイ：32、台湾：14、中国：109、朝鮮：3、トルコ：2、ネパール：47、パキスタン：15、ブラジル：15、フィリピン：35、フランス：3、ブルガリア：5、ベトナム：213、ペルー：2、ミャンマー：39、モンゴル：6、ロシア：1、カンボジア：7、チリ：1、アイルランド：1

◆◆ “グローバル香芝” 入会のご案内 ◆◆

香芝市の国際交流に参加できる個人や団体で国際交流に興味をお持ちの方、私達と一緒に活動しませんか。語学力や国籍に関係なく、どなたでも入会することができます。

〈会　費〉 個人会員　年間　3,000 円 ／ 賛助会員（団体）　年間　10,000 円
〈月例会〉 日　時：毎月　第三日曜日（11/16、12/21、1/18、2/15、3/15）　10:00～12:00
場　所：香芝市中央公民館

◆ 申し込み・問い合わせ先
・グローバル香芝 代表：河合 貴之（✉：turkey913@gmail.com）
e-mail： nijosan3231@global-kashiba.matrix.jp　お気軽にどうぞ！

◆ホームページアドレス： https://global-kashiba.mahoroba.club/

編集発行 ： グローバル香芝 広報部
連 絡 先 ： 〒639-0292 香芝市本町 1397 香芝市役所　市民協働課
電話 ： 0745-44-3314　Fax：0745-78-3830